

ひめゆりの塔 (1953)

メディア 映画
ジャンル ドラマ 戦争
製作国 日本
色彩 B&W
時間 130分
初公開日 1953/01/09
公開情報 東映

【解説】
石野径一郎の同名小説を水木洋子が脚色し今井正が監督。戦争に散った女学生たちの悲劇を、セミ・ドキュメンタリータッチで描く。戦後まもなくの製作だったため、沖縄でのロケができなかったという。今井正は1982年にも水木洋子の脚本でリメイク版を監督した。
敗戦が色濃くなった昭和二十年の沖縄。日本軍は「勤労奉仕」という名の下、女学校を卒業したばかりの生徒たちによる看護部隊「ひめゆり部隊」を結成し、前線の野戦病院へ送り込んだ。沖縄はすでに海と空からの爆撃にさらされており、病院には日夜、負傷兵や遺体が運び込まれてきていた。ひめゆり部隊は弾丸や水を運ぶなど、看護以外の労働に従事していたが、敵軍の攻撃は日増しに激しくなり、部隊は徐々に包囲されてしまう。

【クレジット】
監督 今井正
製作 大川博
企画 マキノ光雄
伊藤武郎
原作 石野径一郎 「ひめゆりの塔」
脚本 水木洋子
撮影 中尾駿一郎 Shunichiro Nakao
美術 久保一雄
編集 河野秋和
音楽 古関裕而
出演 津島恵子 宮城先生
岡田英次 Eiji Okada 玉井先生
信欣三 平良先生
石島房太郎 南舎監長
殿山泰司 照垣先生
河野秋武 仲栄間先生
春日俊二 徳田先生
神田隆 橋本先生
南川直 奥里書記
清水元 山岡部長
香川京子 上原文
関千恵子 久田淳子
小田切みき 尾台ツル

岩崎加根子
川口節子
渡辺美佐子
藤田進
原保美
加藤嘉
武内亨
穂積隆信
山本みどり
利根はる恵
戸田春子
田中筆子
原緋紗子

花城露子
小谷初子
富安良子
岡軍医
大高見習士官
佐々木軍医長
兵士
兵士
看護婦
安里ルリ
尾台ツルの母
花城カメ
父兄